

平成28年度モニタリング調査分析機関報告データ

底質

[1-4-2] コプラナーPCBのうち 3,4,4',5-テトラクロロビフェニル (#81) ・底質(単位: pg/g-dry)

調査年度: 2016
 検出頻度(地点ベース): 48/62(欠測等: 0)
 検出頻度(検体ベース): 48/62(欠測等: 0)
 検出下限値: 0.2
 定量下限値: 0.6

	集計値
幾何平均値	1.4
中央値	1.3
最大値	220
最小値	nd

地方公共団体	地点番号	調査地点	測定値
北海道	1	天塩川恩根内大橋(美深町)	nd
	2	石狩川河口石狩河口橋(石狩市)	tr(0.3)
	3	苦小牧港	1.2
岩手県	4	豊沢川(花巻市)	nd
宮城県	5	仙台湾(松島湾)	1.2
仙台市	6	広瀬川広瀬大橋(仙台市)	nd
秋田県	7	八郎湖	1.0
山形県	8	最上川河口(酒田市)	tr(0.4)
福島県	9	小名浜港	7.7
茨城県	10	利根川河口かもめ大橋(神栖市)	tr(0.2)
栃木県	11	田川給分地区頭首工(宇都宮市)	nd
千葉県	12	市原・姉崎海岸	3.6
千葉市	13	花見川河口(千葉市)	tr(0.2)
東京都	14	荒川河口(江東区)	11
	15	隅田川河口(港区)	55
横浜市	16	横浜港	18
川崎市	17	多摩川河口(川崎市)	9.8
	18	川崎港京浜運河	34
新潟県	19	信濃川下流(新潟市)	nd
富山県	20	神通川河口萩浦橋(富山市)	tr(0.3)
石川県	21	犀川河口(金沢市)	1.0
福井県	22	笙の川三島橋(敦賀市)	nd
山梨県	23	荒川千秋橋(甲府市)	nd
長野県	24	諏訪湖湖心	3.5
静岡県	25	清水港	7.2
	26	天竜川(磐田市)	nd
愛知県	27	衣浦港	1.0
	28	名古屋港	8.3
三重県	29	四日市港	10
	30	鳥羽港	2.0
滋賀県	31	琵琶湖南比良沖中央	3.8
	32	琵琶湖唐崎沖中央	19
			※※6.5
京都府	33	宮津港	tr(0.5)
京都市	34	桂川宮前橋(京都市)	1.0
大阪府	35	大和川河口(堺市)	8.4
大阪市	36	大川毛馬橋(大阪市)	7.6
	37	淀川河口(大阪市)	18
	38	大阪港	220
	39	大阪港外	12
兵庫県	40	姫路沖	4.0
神戸市	41	神戸港中央	22
奈良県	42	大和川(王寺町)	nd
和歌山县	43	紀の川河口紀の川大橋(和歌山市)	1.5
岡山県	44	水島沖	1.1
広島県	45	呉港	1.6
	46	広島湾	4.1
山口県	47	徳山湾	1.5
	48	宇部沖	1.4
	49	萩沖	nd
徳島県	50	吉野川河口(徳島市)	tr(0.3)
香川県	51	高松港	17
愛媛県	52	新居浜港	tr(0.3)
高知県	53	四万十川河口(四万十市)	tr(0.3)
北九州市	54	洞海湾	80
福岡市	55	博多湾	3.0
佐賀県	56	伊万里湾	2.0
長崎県	57	大村湾	2.3
大分県	58	大分川河口(大分市)	tr(0.3)
宮崎県	59	大淀川河口(宮崎市)	nd
鹿児島県	60	天降川(霧島市)	nd
	61	五反田川五反田橋(いちき串木野市)	nd
沖縄県	62	那覇港	nd

(注1) 「検出頻度(地点ベース)」とは検出地点数/調査地点数(欠測等は除く)を、

「検出頻度(検体ベース)」とは検出検体数/調査検体数(欠測等は除く)をそれぞれ意味する。

(注2) 検出下限値以上を検出とした。

(注3) 「nd」は不検出を意味する。

(注4) 「tr」は検出下限以上定量下限未満を意味する。

(注5) ※※3点で採取した試料を個別に分析し、過年度と比べて高値であった1点の試料を除く2点の平均値である。